

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年7月5日(2012.7.5)

【公開番号】特開2011-94057(P2011-94057A)

【公開日】平成23年5月12日(2011.5.12)

【年通号数】公開・登録公報2011-019

【出願番号】特願2009-250438(P2009-250438)

【国際特許分類】

C 09 J 7/02 (2006.01)

C 09 J 201/00 (2006.01)

【F I】

C 09 J 7/02 Z

C 09 J 201/00

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月18日(2012.5.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基材および粘着剤層を有する粘着シートと、前記粘着剤層上に配置された剥離ライナーと、を備える剥離ライナー付き粘着シートであって、

前記基材は、少なくともウレタンポリマーを含有する複合フィルムからなり、

前記剥離ライナーは、前記粘着剤層側の表面を構成するA層と該A層を支持するB層とを少なくとも含む積層体であり、かつ、25～40の間における平均線膨張係数が $7 \times 10^{-5}/$ 以下であり、前記粘着シートは、全光線透過率が80%以上であることを特徴とする剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項2】

前記剥離ライナーを構成する前記A層は、リン系酸化防止剤を含まないか、あるいは、該リン系酸化防止剤の含有割合が0.01質量%以下のポリオレフィン系樹脂組成物により形成されており、前記粘着剤層側表面は、該表面を横切って延びる高さ5μm～50μmの複数の歫によって複数の部分領域に仕切られており、それらの部分領域のうち少なくとも一部は該領域の内接円が直径500μmを超えるサイズであることを特徴とする請求項1に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項3】

前記剥離ライナーの少なくとも前記粘着剤層側の表面は、白金触媒を含有する付加硬化タイプのシリコーン系剥離剤によって剥離処理されていることを特徴とする請求項1から2のいずれか1項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項4】

前記複数の歫は、互いに平行に延びる第一の歫群と、該第一の歫群と交差して互いに平行に延びる第二の歫群とを包含し、

前記第一の歫群および前記第二の歫群は、いずれも、隣り合う歫の基部間の距離が500μmを超えるピッチで形成されていることを特徴とする請求項2から3のいずれか1項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項5】

前記歫の基部の幅が15μm以上、200μm以下の範囲であることを特徴とする請求

項2から4のいずれか1項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項6】

前記B層は紙製であることを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項7】

前記B層はポリエチレンテレフタレート系樹脂製であることを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。

【請求項8】

前記A層は、前記B層の少なくとも一方の表面に前記ポリオレフィン系樹脂組成物からなる層をラミネートしてなることを特徴とする請求項2から7のいずれか一項に記載の剥離ライナー付き粘着シート。